

フクシマの真実！ 馬26頭が謎の連続死

原因は放射能!? 『美味しんぼ』「福島原発取材で鼻血」騒動だけじゃなかった!



診断書にはどの馬も「病名不明」とある。血液検査、寄生虫、伝染病などすべてシロだった



解剖された馬。内臓はサンプルとして大学に持ち帰られた

診断書(複製)	
患者氏名	飯館村白石
住所	福島県 飯館村 白石
性別	雄
年齢	不明
種別	馬
飼育者氏名	不明
飼育者住所	不明
検査項目	血液検査、寄生虫、伝染病
検査結果	すべてシロ
医師	久留野 寛

人気グルメ漫画「美味しんぼ」に出てきた鼻血が騒動になっている。4月28日発売の「ビッグコミックスピリッツ」に掲載された「福島島の真実」編で、福島第一原発を訪れた主人公が原因不明の鼻血を出す場面が描かれた。「福島島の放射線とこの鼻血とは関連づける医学的知見がありません」とあるものの、まるで放射能被害のように読めることから、地元の大葉町が「風評被害を生じさせている」として、小学館に抗議文を送ったのだ。

その後、環境省も放射線被曝と鼻血の因果関係を否定したが、作者の雁屋哲氏は、批判に対し「鼻血ごときで騒いでいる人たちは、(次号以降)発狂するかも知れない」とブログで応戦、まだまだ騒動は続きそうな様子である。

「去年1月にメス馬が死んだ。よくあることだし、このときはそれほど深刻に考えなかった。けどそれからバタバタと倒れていった。倒れ方も似ていて、最初は貧血のように足腰がフラフラしてへたりこむ。そのうち口をばっくりあけて息絶えるんだ。長年馬を飼ってきたが、こんなこと一度もなかった」

あわてて獣医師に診てもらい、家畜専門の保健衛生所で鑑定してもらったが、死因は不明のままだった。

細川さんが住む飯館村の白石地区は、いまも国の除染基準をはるかに超える放射線量が検出されているため、「計画的避難区域」に指定されたまま。単身で住む細川さんしか住民はいない。細川さんは政府が言ってきた家畜の全頭殺処分を突っぱねた。

「俺で3代目。祖父の代からやってきた牧場をつぶすわけにはいかないし、生きた馬をほったらかして逃げ出すな

こつしたなか、福島で馬の連続死が起きていることがわかった。原発から30kmの飯館村で牧場を経営する細川徳栄(62)が言う。

「恐れていたことが、とうとう現実になっちゃったよ。放射能被曝による影響が生態系をじわじわとむしばんでいるのではないか…」

細川さんの牧場では、昨年1月から今年の4月にかけて、26頭の馬が放牧中に次々と死んでいく不可解な現象が続いている。

「俺にはできない。馬も牛もちゃんと生きてるんだからな。でも、こいつらのエサ代だけで月にざっと100万円はかかる。俺の収入はまったくゼロで赤字もはなはだしい。手持ちの貯金を取り崩したり家族の支えがあるからなんとか持ちこたえているが、はたしていつまで続くか」

細川さんは現在、事故発生前に飼っていた馬のうち、買い手がつかず乗馬クラブや動物園などに無償譲渡した馬87頭分の損害賠償2億1千万円の支払いを求め、原子力損害賠償紛争解決センターと協議を続けている。

「原発から60km以上離れた福島市でさえ、捕獲されたニホンザルから肉1kgあたり1万〜2万5千ベクレルのセシウムが検出されたことがある。被曝被害は深刻だ。きつと自分の馬も「内部被曝」で死んだんだと思う」

だが、死んだ馬の放射能検査をおこなった東北大学加齢医学研究所の福本学教授が言う。

「僕らが調べたのは4頭だけど、肉1kgあたりのセシウムは20〜100ベクレと低く、食べても大丈夫な数字です。ただ、放射線の影響は時間がたたないとわからない。チェルノブイリでも甲状腺がんの影響が出たのは5年後ですからね。だから、継続的に調査を続けることが大事だと思います」

26頭もの馬の連続死。原因は謎のままで。

